

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

「いのちのたいせつさ」(道徳)

立山町立釜ヶ淵小学校 1～4 学年児童
平成 22 年 11 月 26 日実施

【いのちの先生】

高田 恵子先生
・助産師

【授業の概要】

- 1 校長先生の話
 - (1) いのちを大切に
 - (2) 「いのちの先生」の紹介
- 2 「いのちの先生」の話
 - (1) 主体的に生きる
 - (2) 与えられたいのちの自覚
- 3 授業の感想を話し合う
- 4 メッセージカードの記入 (家庭学習)

温かい雰囲気の中で、やさしく語りかけるいのちの先生のお話につきつけられ、児童は神秘的ないのちの誕生についての学習に真剣に臨むことができた。

いのちは両親から授かった、かけがえのない大切なものであることを分かりやすく話していただき、児童はあらためていのちの大切さを強く実感することができた。一日授業参観で実施し、保護者の参加もあり、家庭での話し合いにもつなげることができた。

「いのちの授業」の感想 (1 学年児童)

○お母さん、私を産んでくれてありがとう。お父さんも、私が生まれてくるとき「がんばれ」と応援してくれたのでしょ。そのおかげで、元気に生まれてきたよ。ありがとう。

○高田先生、赤ちゃんってへその緒でつながっているんだね。よく分かりました。いのちが本当に大切なことも分かりました。

「いのちの授業」の感想 (2 学年児童)

○お母さん、これまで育ててくれてありがとう。元気に育って、大きくなれたのはお母さんが育ててくれたからだと思います。

○高田先生、いのちのことを教えてくださってありがとうございました。赤ちゃんの抱っこの仕方や赤ちゃんの大きさのことも教えてくださったのでよく分かりました。

「いのちの授業」の感想 (3 学年児童)

○お母さん、私を産んでくれてありがとう。いのちの勉強をして、私がどのようにして生まれてきたのかやいのちの大切さを知りました。そして、お母さんが私をずっと育ててくれたから、私は元気であることができます。お母さんに本当に感謝です。

○ぼくは、いのちは絶対になくさないように、大切にしたいと思いました。両親からもらったたった一つのいのちをなくしたら、たかさんの人が悲しむからです。

「いのちの授業」の感想 (4 学年児童)

○私は今日、高田先生から人が生まれるときの様子を教えてもらいました。そして「いのち」は最も大切なもので、両親からもらった世界でたった一つのもの。このいのちを大切にしたいです。

○いのちの一番最初の大きさは、色紙にあげられた小さな穴の大きさだったなんて、びっくりしました。それが今のぼくになったと思うと、奇跡に近いことだと思いました。